事業所名： グループホーム旬彩

作成日： 平成 24 年 3 月 30 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	開催時間の工夫等によりメンバーの構成を各方面の関係者に広げ、更なる内容の充実に向けて取り組みが期待される。	開催時間の工夫や各方面とのつながりを深め、運営推進会議への参加者の充実化を図る。	地域のサロンに参加したり、旬彩で行う施設の行事に招待したりして、各地域との交流を深める。	6ヶ月
2	35	災害用の備蓄品の充実とともに、更なる地域との 連携強化に向け、今後の取り組みに期待したい。	突然の災害に備え、備蓄品の充実と地域・職員の連携強化に努める。	年4回の職員連携訓練の実施。 防災訓練時に地域の住民にも参加を呼び掛ける。 地域の防災訓練には職員も参加する。 防災倉庫設置による備蓄品の充実。	6ヶ月
3	40	職員が同じ食卓で同じものを一緒に食べることが大切である。 場所の確保の工夫で楽しい食事時間が実現できるように期待したい。	職員が同じものを一緒に食べることにより利用者の健康状態や嗜好を把握。 職員と利用者が同じ時間を共有することでコミュニケーションを図る。	レイアウトを考え、利用者全員の十分な食事スペースが出来るよう考える。 空いている席に職員が座って一緒に食事をする。	1ヶ月
4	54	独立性の高い居室の為更なる見守りや支援の充実の取り組みを期待したい。	独立性の高い居室ではあるが、 職員のチームケアの強化による見守り、支援の充実化。	職員のチームワークの強化。 ミーティング、ミニ会議を開き、事故になる前に利用者のケアのポイントを共有する。	6ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。